中村 勝範 教授 略歴

略 歴

昭和 四 年 四 月一八日　長野県に生まる
昭和二八年 三 月　慶應義塾大学法学部政治学科卒業
昭和三〇年 三 月　慶應義塾大学大学院修士課程修了
昭和三〇年 四 月　慶應義塾大学法学部副手
昭和三三年 四 月　慶應義塾大学法学部助手
昭和三五年 九 月　慶應義塾大学法学部助教授
昭和四一年 三 月　慶應義塾大学より法学博士の学位を受ける
昭和四二年 三 月　慶應義塾大学法学部教授
昭和五〇年　欧米留学
昭和六〇年一〇月―平成元年九月　慶應義塾大学法学部企画委員長を二期務める
昭和六三年一〇月―平成四年三月　慶應義塾大学法学政治学論究編集委員長を務める
平成 二 年 四 月―同 五年九月　慶應義塾大学法学部人事委員長
平成 三 年一〇月―現在　慶應義塾大学法学研究編集委員長

学会及び社会活動

昭和六〇年一〇月―現在　政治研究桜田会賞審査委員

昭和六一年　四　月―現在　大麻唯男伝記研究会長
昭和六一年一一月―平成五年三月　港区議会史編纂委員会編集委員長
昭和六二年　七　月―平成四年三月　文部省大学設置審議会専門委員（六二年九月より文部省大学設置・学校法人審議会専門委員に改組）五期務める
昭和六三年　四　月―現在　日本政治学会理事（三期目）
平成　四　年　四　月―現在　法制史学会理事（二期目）

中村 勝範 教授 著作目録

I 著書

（共著）

『議会政治を擁護するために』	社団法人民主主義研究会	昭和三七年
『日本福祉国家の条件』	春秋社	昭和三八年
『日本の労働組合の政治活動』	社団法人民主主義研究会	昭和三九年
『神奈川県労働運動史（戦前編）』堅山利忠編	神奈川県労働部労政課	昭和四一年
『民主社会主義の歴史と理論』	中央公論社	昭和四一年
『日本社会主義政党史』	経済往来社	昭和四一年
『日本の選挙構造』	原書房	昭和四三年
『国民的合意の条件――民主主義の擁護――』	原書房	昭和四三年
『日本における政党と政治意識』	慶應通信	昭和四六年
『民主連合政権』	千代田永田書房	昭和四八年
『左翼全体主義――その理論と実態――』	民主社会主義研究会議	昭和四九年
『中村菊男先生追悼論文集』	新有堂	昭和五三年
『大系民主社会主義 第一巻』民主社会主義研究会議編	文藝春秋	昭和五五年
『大系民主社会主義 第二巻』民主社会主義研究会議編	文藝春秋	昭和五五年
『消された英雄たち』	プレジデント社	昭和五六年

『日本政治の実力者たち　リーダーの条件三』　有斐閣　昭和五六年
『近代日本政治の諸相――時代による展開と考察――』　慶應通信　平成元年
『各国政治制度概説』　慶應通信　平成二年
『現代政治学事典』大学教育社編　ブレーン出版　平成三年
『港区議会史通史篇』　東京都港区議会　平成五年

(単著)

『明治社会主義研究』　世界書院　昭和四一年
『現代文化人論』　慶應通信　昭和四四年
『現代文化人論』第二巻　慶應通信　昭和四八年
『宮本顕治論』　千代田永田書房　昭和五三年

Ⅱ　学術論文

(共著)

「地方選挙人の政治意識――三重県鳥羽市国崎町における実態調査――」　『法学研究』二九巻一〇号　昭和三一年
「社会的地位と政治意識――三重県鳥羽市安楽島町における実態調査――」　『法学研究』三〇巻一二号　昭和三二年
「農村における公的意思決定の方式（共有林分割をめぐる事例の研究）――三重県鳥羽市松尾町における実態調査（一）――」　『法学研究』三四巻一号　昭和三六年
「新人会成立の背景」　『法学研究』五一巻五号　昭和五三年
「『デモクラシイ』の思想」　『法学研究』五二巻二号　昭和五四年
「『同胞』の思想」　『法学研究』五二巻一一号　昭和五四年
「『ナロオド』の思想」　『法学研究』五三巻四号　昭和五五年
「『同胞』時代の新人会の活動」　『法学研究』五三巻四号　昭和五五年

「『ナロオド』時代の新人会の活動」　『法学研究』五四巻 三 号　昭和五六年
「『デモクラシイ』時代の新人会の活動」　『法学研究』五四巻 四 号　昭和五六年
「『先駆』時代の新人会の活動」　『法学研究』五四巻 六 号　昭和五六年

（単著）

「J・S・ミルの自由主義思想について」　『三田政治学会誌』第二六号　昭和二七年
「河合栄治郎の自由主義について――特にその時局との関連について――」　『三田政治学会誌』第三九号　昭和二八年
「木下尚江における近代思想の展開――日露戦争前後を中心として――」　『法学研究』二九巻 八 号　昭和三一年
「幸徳秋水の生涯と思想――急進主義を中心として――」　『法学研究』三〇巻一一号　昭和三二年
「直接行動論の抬頭――幸徳秋水の理論をめぐって――」　『法学研究』三一巻一〇号　昭和三三年
「鈴木文治と大正労働運動――友愛会結成前後を中心として――（上）」　『法学研究』三二巻 一 号　昭和三四年
「鈴木文治と大正労働運動――友愛会結成前後を中心として――（中）」　『法学研究』三二巻 三 号　昭和三四年
「鈴木文治と大正労働運動――友愛会結成前後を中心として――（下）」　『法学研究』三二巻 六 号　昭和三四年
「平民社とその財政事情」　『法学研究』三二巻一二号　昭和三四年
「平民社の解散と弾圧」　『法学研究』三三巻 二 号　昭和三五年
「日本社会党の組織と運動」　『法学研究』三三巻一〇号　昭和三五年
「昭和二年の地方選挙と無産政党」　『法学研究』三五巻 五 号　昭和三七年
「第一回普通選挙と無産政党」　『法学研究』三五巻 八 号　昭和三七年
「社会主義理論の変質――明治三十年代末期を中心として――」　『法学研究』三六巻 六 号　昭和三八年
「明治末期の労働運動と社会主義理論との関係――明治四十年を中心に――」　『法学研究』三七巻 九 号　昭和三九年
「赤羽一の生涯と思想」　『法学研究』三九巻 九 号　昭和四一年
「金子喜一論」　『法学研究』四〇巻一〇号　昭和四二年
「明治社会主義意識の形成」　『法学研究』四一巻 七 号　昭和四三年

「社会民衆党の成立過程――独立労働協会から政党組織準備委員会まで――」『法学研究』四二巻七号　昭和四四年
「社会民衆党の創立」『法学研究』四三巻一〇号　昭和四五年
「社会民衆党の精神」『法学研究』四四巻二号　昭和四六年
「社会民衆党の第一年」『法学研究』四四巻六号　昭和四六年
「鈴木文治と工場法」『法学研究』四七巻八号　昭和四九年
「社会民衆党昭和二年党大会提出議案」『法学研究』四九巻五号　昭和五一年
「社会民衆党の中国国民革命への対応――南京政府成立まで――」『法学研究』四九巻七号　昭和五一年
「大正デモクラシーの一断面――黎明会の研究――」『慶應義塾創立一二五年記念論文集法学部政治学関係』昭和五八年
「黎明会創立における大正デモクラシーの一齣」『法学研究』五八巻二号　昭和六〇年
「宮本顕治論――日本共産党の指導者――」『東亜研究』第九輯別冊　昭和六一年
「黎明会とその漸進主義」『法学研究』五九巻一二号　昭和六一年
「黎明会と福田徳三」『法学研究』六〇巻一号　昭和六二年
「社会変動とデモクラシー」『法学研究』六〇巻二号　昭和六二年
「大正デモクラシーと黎明会――黎明会第四回講演会を中心に――」『法学研究』六一巻一号　昭和六三年
「黎明会大阪講演会における主張の変化」『法学研究』六一巻五号　昭和六三年
「三・一事件と黎明会」『法学研究』六一巻一二号　昭和六三年
「『激動の時代』と黎明会」『法学研究』六二巻四号　平成元年
「文明に逆行した労働運動」『法学政治学論究』第一号　平成元年
「労働運動における量と質」『法学研究』六二巻一二号　平成元年
「吉野作造の人道主義的労働運動観」『政治学をめぐる諸問題――鵜沢義行博士古稀記念論文集』日本大学法学部　平成二年
「労働者と知識人――治安警察法第十七条をめぐって――」『法学研究』六三巻一二号　平成二年

「衝撃と反応――治安警察法第十七条をめぐり――」　『教養論叢』八七号　平成三年
「翼賛選挙と旧政党人」　『法学政治学論究』一〇号　平成三年
「東京砲兵工廠の同盟罷業と治安警察法第十七条――黎明会研究に関連して――」　『法学研究』六五巻一号　平成四年
「治安警察法第十七条適用の背景と底流――『陸軍省密大日記』を手がかりに――」　『法学研究』六五巻三号　平成四年
「黎明会の治安警察法第十七条撤廃講演会」　『法学研究』六六巻一号　平成五年
「森戸辰男事件序論」　『教養論叢』九三号　平成五年
「国家と文化の対立――森戸辰男事件をめぐって」　『法学研究』六六巻七号　平成五年
「森戸辰男事件と黎明期学生運動」　『教養論叢』九五号　平成六年
「森戸事件と吉野作造の『クロポトキン論』」　『法学研究』六七巻八号　平成六年

Ⅲ 書評

（共著）

石堂清倫・堅山利忠編『東京帝大新人会の記録』　『法学研究』四九巻一〇号　昭和五一年

（単著）

中村菊男著『民主社会主義の思想』、内山正熊著『国際政治学序説』　『三田政治学会誌』第三七号　昭和一八年
中村菊男著『明治的人間像――星亨と近代日本政治――』　『法学研究』三一巻二・三合併号　昭和三三年
中村菊男著『伊藤博文』　『法学研究』三二巻二号　昭和三四年
ハイマン・カブリン編著『明治労働運動史の一齣――高野房太郎の生涯と思想――』　『法学研究』三三巻一号　昭和三五年
関山直太郎著『初期社会主義資料――牟婁新報抄録――』　『法学研究』三三巻三号　昭和三五年
河野密著『日本社会政党史』　『法学研究』三四巻四号　昭和三六年
吉岡金市著『森近運平』　『法学研究』三四巻六号　昭和三六年
労働運動史研究会編『新紀元』　『法学研究』三四巻九号　昭和三六年

柳田泉著『日本革命の予言者　木下尚江』　『法学研究』三四巻一二号　昭和三六年
筑波常治著『日本人の思想――農本主義の世界』　『法学研究』三五巻　三　号　昭和三七年
中村菊男著『松岡駒吉伝』　『法学研究』三七巻　三　号　昭和三九年
総同盟五十年史刊行委員会編『総同盟五十年史第一巻』　『法学研究』三八巻一〇号　昭和四〇年
矢部貞治著『矢部貞治日記銀杏の巻』　『法学研究』四八巻　一　号　昭和五〇年
H・スミス著、松尾尊兌、森史子訳『新人会の研究』　『法学研究』五二巻　五　号　昭和五四年

IV　総目次と解説

週刊新聞『直言』　『法学研究』三二巻　八　号　昭和三四年
『光』　『法学研究』三三巻　六　号　昭和三五年
『批評』　『法学研究』三五巻　一　号　昭和三七年
週刊新聞『大衆運動』　『法学研究』三五巻　六　号　昭和三七年
『微光』　『法学研究』三九巻　三　号　昭和四一年
『ディナミック』　『法学研究』四九巻一二号　昭和五一年

V　研究報告

「宮本顕治論――日本共産党の指導者――」　一九八六年韓国西江大学東亜研究所主催第二回アジア政治文化会議　昭和六一年
「大正期における民主主義思想の形成」　一九八七年度日本政治学会総会　昭和六二年
「国際共産主義運動の趨勢」　一九八八年第一五回日華大陸問題研究会議　昭和六三年
「翼賛選挙の一考察――議会開設百年に関連して――」　一九九一年度日本選挙学会総会　平成三年